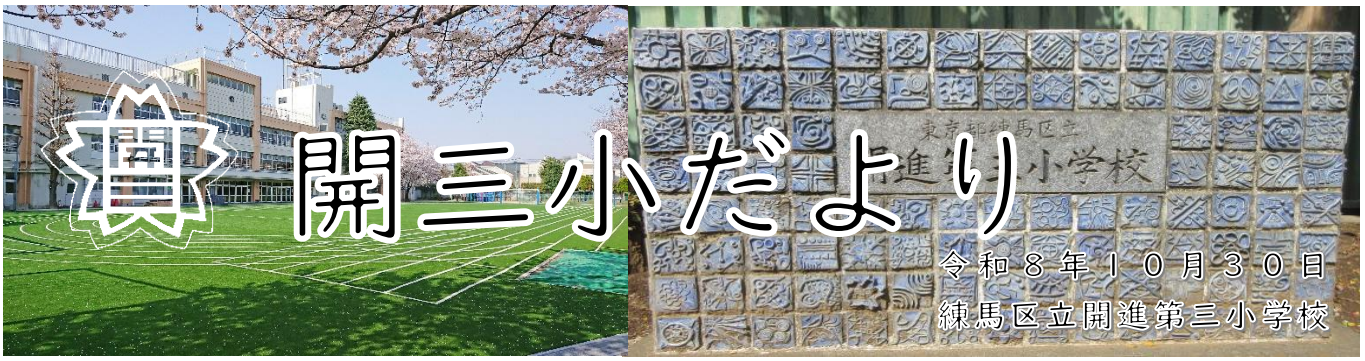


本　は　知　識　の　根　本　（その４）

校　長　佐々木　秀之

「霜降」を過ぎ、秋もたけなわ。各地からは紅葉の便りも寄せられるようになりました。秋は芸術の秋、読書の秋、勉学の秋、食欲の秋、スポーツの秋と例えられるように、じっくり物事に取り組んだり、習得したりするのによい季節です。

10 月 27 日から 11 月 9 日まで（「文化の日」を中心に 2 週間）は第 74 回「読書週間」です。職員室前には図書委員会の皆さんがおすすめ本を紹介してくれています。

＊

読書は、子供たちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものだといわれています。その他にも、「語彙力や読解力が身に付く」「集中力が養われる」「知識が増える」「人の気持ちが分かりコミュニケーション力が高まる」「自己肯定感が高くなる」「気持ちが安定する」など、良いこと尽くめのように感じます。

しかし、子供たちにただ「本を読みなさい」と大人が言って、自分はテレビを見ていては、子供たちは本を読むようにはなりません。自ら「読みたい」と思えるような大人の働きかけが必要ではないでしょうか。例えば、「家の中に本を置く」「読書ができるように余暇の時間を作ってあげる」「大人も読書をする」「漫画や絵本もよしとする」「読み聞かせを続ける」…。「子供に読ませる」ではなく、「自然と読める環境づくり」が大切なのだと思います。

スマホやタブレットの普及が読書離れの原因ともいわれていますが、それらを活用することも考えられます。スマホやアプリの中には絵本や小説を読めるものもあります。隙間時間で読めるため手軽であり、今の子供たちにとっては、こちらの方が読みやすいかもしれません。もちろん、視力などへの影響に気を付けることは必要ですが…。

＊

今年の読書週間の標語は「静かだけど 冒険中」です。世界的歌手のマイケル・ジャクソンさんは、「僕は読書が好きだ。もっと多くの人に本を読むようにアドバイスしたい。本の中には、まったく新しい世界が広がっているんだよ。旅行に行く余裕がなくても、本を読めば心の中で旅することができる。本の世界では、何でも見たいものを見て、どこでも行きたいところへいける」という言葉を残しています。本の中で、世界中を回ってみてはいかがでしょう。



学校の行事予定（１１月分）

行事予定　（〇数字は学年）				授業時数					
日	曜	朝会・集会 委員会・クラブ	行事	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1	日								
2	月	全校朝会	５時間授業	5	5	5	5	5	5
3	火								
4	水		４時間授業（２年１組のみ５時間授業）	4	4	4	4	4	4
5	木		移動教室事前健診⑤	5	5	6	6	6	6
6	金	児童集会	避難訓練	5	5	6	6	6	6
7	土								
8	日								
9	月			5	5	5	6	6	6
10	火	たてわり班活動		5	6	5	6	6	6
11	水		岩井移動教室⑤	5	5	5	5		5
12	木		岩井移動教室⑤	5	5	6	6		6
13	金		岩井移動教室⑤	5	5	6	6		6
14	土								
15	日								
16	月			5	5	6	6	6	6
17	火			5	6	6	6	6	6
18	水		就学時健診 （３時間授業、４時間目に給食）	4	4	4	4	4	4
19	木			5	5	6	6	6	6
20	金			5	5	6	6	6	6
21	土								
22	日		読書旬間（１６日～２７日）						
23	月								
24	火			5	6	6	6	6	6
25	水		４時間授業	4	4	4	4	4	4
26	木			5	5	6	6	6	6
27	金	音楽朝会		5	5	6	6	6	6
28	土								
29	日								
30	月			5	5	5	6	6	6

【１２月の主な予定（〇数字は学年、それ以外は学校全体に関わるものです。）】

３日（木）連合鑑賞教室⑤
４日（金）社会科見学③
１１日（金）音楽会児童鑑賞日
１２日（土）音楽会保護者鑑賞日
１６日（水）～２２日（火）個人面談
２４日（木）給食終
　　４時間授業
２５日（金）２学期終業式
　　給食なし　４時間授業
２６日（土）冬季休業日始
　　（～R9．１．７）

運動会を終えて

運動会委員長より

先日はお忙しい中、運動会へご参加いただき、誠にありがとうございました。

当日までの練習期間、子供たちは自分の目標に向かって一生懸命取り組んできました。表現では全身を使って伸びやかに踊り、素晴らしい笑顔を見せてくれました。６年生による鼓笛行進は、今年で５０代目になり、節目を迎えました。その伝統を受け継ぎ、素晴らしい演奏をしてくれました。短距離走では、結果に喜ぶ姿もあれば、悔しさをにじませる姿もありましたが、それぞれ全力を尽くす姿が印象的でした。団体競技では、僅差で勝敗が分かれる中でも、勝ったチームをたたえ合う温かい姿が見られました。

一人一人が輝く運動会になりました。今後もこの経験を通して、さらに成長していってほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には温かいご声援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。





冬の体育の服装について

体育時の服装についてお知らせします。

1　上着について

・チャックやボタンなどの飾り、フード、ポケットのついていないトレーナーやスウェットを着用します。

・体育着の下の下着について、長袖は不可です。

2　脚部分について（黒または紺色をベースにしたものを基本とします。）

・スポーツタイプのスパッツ（足首が出るもの）

・レギンス

・ジャージタイプの長ズボン（色の指定なし）

3　その他

・家から着てきた洋服は、そのまま体育で着用することはできません。

・上記の防寒着は、体育着袋に入れてください。

・ジャージタイプの長ズボンを履く場合は、途中で着脱ができるよう、下に体育着の半ズボンをはかせてください。